

# 令和4年度 事業報告

2022年4月1日 ～ 2023年3月31日

特定非営利活動法人みずうみ

## 令和4年度の組織目標

- (1) 利用者様支援の充実を図る
- (2) 職員のチーム形成 ～新体制の構築

### I 令和4年度の重点的取り組み

#### (1) 利用者様支援の充実を図る

##### 1 担当制を活用したケアの充実

計 画	結 果
1) 全職員が担当利用者様の日々の支援の中心的役割を担い、より手厚い支援を目指す	担当利用者を中心に全職員が情報を共有しながら支援を行ってきたが、1月から職員1名が産休育休に入った。代替職員の求人に応募が1件もなく大変な状況が続いたが、3/13ようやく職員確保でき、体制の立て直しが図れた。 来年度職員育休中の体制を確立し、担当制を維持しながら一層の支援充実を目指していく。
2) 「目配り、気配り、心配り」の満足度の向上を意識して利用者様に関わる一人ひとりに寄り添い、信頼関係を深める	次々と新しい事業所が開所されていく状況のなか、新規利用者の紹介も途絶えているため、現利用者様一人ひとりを大切にしていくことをモットーに、日々の支援に当たった。 ・第三者委員相談日を5/16(5人)、9/16(6人)、9/26(3人)、1/31(5人)、3/31(6人)に開催。 ・利用者様満足度調査を上半期分9月、下半期3月に実施。記入困難な利用者様は第三者委員が聞き取りを行った。 来年度継続する。

3) 担当職員とサービス管理責任者の協働を強め、個別支援計画や日常的な支援に反映させる	サビ管を中心とした支援体制のなかで、個別のニーズを踏まえた計画立案、日々の支援を行った。 来年度継続する。
---	--

## 2 作業しやすく安全な環境づくり

計 画	結 果
1) 転倒防止を常に意識した、事業所内の環境整備 作業の効率化を考えた資材置き場のレイアウト	動線に障害物がないよう注意し、手押し車の利用者様をはじめ高齢の利用者様の転倒防止に努めた。 作業をフロアごとに分け、利用者様が自分で準備できるように材料の配置も分かりやすくした。 来年度引き続き安全を第一とし、効率性向上のための環境を見直しながら業務を行っていく。
2) 特性に配慮した座席の提供 特性に配慮した作業工程の説明書きの作成	座席は特性に応じた配置でほぼ固定している。 説明書きが必要な、工程の多い新規作業がなかったため、見本の提示で取り組めた。 来年度継続する。

## 3 レクリエーションの工夫 (コロナ禍における楽しみ)

計 画	結 果
1) 外出レク再開まで事業所内のお楽しみ会の内容の充実を図る (あおぞらの会 1回/月) ○食事、スイーツの提供 ○簡単創作、体操、演奏会等 ○貸し切り可能な施設の利用や、屋外のレクの模索	8月に利用者様で新型コロナウイルス感染者第1号が発生し、それ以降家族や同居者の感染による濃厚接触及びそこから感染が職員、利用者様ともに続出。1月下旬までその状況が続き、外出レクはもちろんのこと、事業所内のお楽しみ会も中止や延期を余儀なくされた月もあった。なかなか内容の充実を図る余裕はなかった。 来年度新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5月に5類に引き下げとなったこともあり、県内での感染拡大が見られなければ、外部の人との接触を極力減らした方法で外出レクを再開する。
2) グループトークの実施 (にこにこの会 1回/月)	にこにこの会も感染状況や職員体制により中止した月もあった。開催時には、その日のテーマを決めて全員の利用者様にお話ししてもらい、皆楽しみにされていた。 来年度継続する。

3) 趣味のスペースの設置→作品展示や様々な趣味を紹介	玄関先に設置した展示スペースに、利用者様が自分の手芸作品やおすすめの本、レシピ等の紹介をされ、お互いにいい刺激になっている様子だった。 来年度継続する。
-----------------------------	---

#### 4 感染防止対策の継続

計 画	結 果
1) 感染防止ハード面の整備(3密回避のための物理的環境整備、感染防止グッズの導入等)	自動手指消毒スタンド、パーテーションの設置を継続した。 来年度必要に応じ、ハード面の整備の見直しを行う。
2) 感染防止ソフト面の徹底(マスク・手洗い・消毒・検温・体調確認・換気・清掃等の基本的習慣、県・市内感染状況に応じた入場制限等の対応)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎乗車時の検温の実施。</li> <li>・健康観察カードの継続。</li> <li>・冬期も常時窓を細く開けて換気扇、空気清浄機、扇風機を作動した。</li> <li>・高齢者、基礎疾患のある利用者様が多く、密な環境であるため、マスクの着用が個人の判断に委ねられた3/13以降も、原則事業所利用時には着用をお願いした。</li> </ul> 来年度5類への引き下げに伴う国の方針変更の動向や県内の感染状況を見つつ、事業所の対応を検討し実施していく。
3) 感染に関する情報の収集、共有、提供	日々情報収集に努め、得られた情報は職員間で共有を図り、必要時利用者様に提供した。 来年度継続する。

#### 〔4年度数値目標〕

計 画	結 果
① 1日平均利用者数=14人	実績=13.9人(前年度実績=15.1人) 8~1月の間、目標値を下回った(原因=コロナ、自動車教習所、退所等)。 来年度現在の利用者様への支援の充実に努めるとともに、新規利用者確保の機会を探っていく。
② 目標工賃=月 額 15,897円 時間額 350円	実績=月 額 16,944円 時間額 395円 (前年度実績=月 額 16,345円 時間額 391円) 作業は概ね滞りなく続き、安定的に作業確保できた。しかし魚の屋は最中作業の外注を問題視する

	<p>声が外部から上がっており、わかめの下処理等の作業に変更せざるを得ない可能性もあると言われた。また R5 年 5 月 9 日に、今期のわかめが大不作のため、急遽 6 月末で今期の作業委託を終了すると言われた。作業委託の再開は R6 年 3 月頃、新物収穫時に事前打ち合わせの予定とのこと。</p> <p>来年度 当事業所の工賃の最大の柱である魚の屋の作業委託を受けられなくなったため、早急に他の内職作業を確保しながら、新規自主事業を検討し着手する。</p>																																
<p>③椎茸事業=JA 出荷重量 4,200kg/年 売上金額 230,000 円/月</p>	<p>*売上金額推移</p> <table border="1" data-bbox="802 770 1433 1167"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>売上金額</th> <th>月</th> <th>売上金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 月</td> <td>262,924 円</td> <td>11 月</td> <td>219,919 円</td> </tr> <tr> <td>5 月</td> <td>204,276 円</td> <td>12 月</td> <td>243,963 円</td> </tr> <tr> <td>6 月</td> <td>127,213 円</td> <td>1 月</td> <td>172,544 円</td> </tr> <tr> <td>7 月</td> <td>119,884 円</td> <td>2 月</td> <td>248,742 円</td> </tr> <tr> <td>8 月</td> <td>110,966 円</td> <td>3 月</td> <td>275,814 円</td> </tr> <tr> <td>9 月</td> <td>197,875 円</td> <td>合計</td> <td>2,397,706 円</td> </tr> <tr> <td>10 月</td> <td>213,586 円</td> <td>平均</td> <td>199,809 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>R3 年度実績=合計 2,583,696 円 平均 215,308 円</p> <p>R3 年と比較し合計 185,990 円の減 平均 15,499 円の減</p> <p>*出荷重量 R4 年 1 月~12 月=3,648kg R3 年 1 月~12 月=4,141kg R2 年 1~12 月=3,880kg H31 年 1 月~R 元年 12 月=4,243kg R3 年と比較し 493kg の減 ⇒売上、出荷重量減少は、5 月にエアコンの設定ミスにより高温障害を起こしてしまったことが主な原因。</p> <p>来年度 エアコン設定の確認を徹底し、出荷量、売上向上に向けて努力する。</p>	月	売上金額	月	売上金額	4 月	262,924 円	11 月	219,919 円	5 月	204,276 円	12 月	243,963 円	6 月	127,213 円	1 月	172,544 円	7 月	119,884 円	2 月	248,742 円	8 月	110,966 円	3 月	275,814 円	9 月	197,875 円	合計	2,397,706 円	10 月	213,586 円	平均	199,809 円
月	売上金額	月	売上金額																														
4 月	262,924 円	11 月	219,919 円																														
5 月	204,276 円	12 月	243,963 円																														
6 月	127,213 円	1 月	172,544 円																														
7 月	119,884 円	2 月	248,742 円																														
8 月	110,966 円	3 月	275,814 円																														
9 月	197,875 円	合計	2,397,706 円																														
10 月	213,586 円	平均	199,809 円																														
<p>④就労移行（一般企業または就労継続支援 A 型事業所）= 1 人</p>	<p>今年度実績= 2 人 一般就労希望の利用者様 1 人に対し、関係機関と連携して就職に向けた支援を行った結果、パッキングセンターへの就職が決定した。もう 1 人の利</p>																																

	<p>ユーザーは、併用の三葉園が中心となって就職の支援を行われた。</p> <p>来年度就職した利用者の定着を支援するとともに、他に一般就労の希望者がいれば支援を行っていく。</p>
--	---

(2) 職員のチーム形成 ～新体制の構築～

**1 担当制を活用した情報の収集・集約・共有**

計 画	結 果
<p>1) 担当職員とサービス管理責任者の協働</p> <p>○担当職員を中心とした日常的な情報収集</p> <p>○職員からサービス管理責任者への情報の集約</p> <p>→サービス管理責任者と担当職員の協働による支援計画の作成と見直し(計画作成 1回/半年の他必要時、モニタリング 1回/3か月)</p>	<p>各担当職員からサビ管に情報を集約し、個別性に細やかに対応した支援、立案、モニタリングが実施できた。</p> <p>来年度継続する。</p>
<p>2) 職員間の情報の共有と共通認識の形成(ミーティング 1回/日、回覧板の活用等)</p>	<p>日常的にこまめな情報共有を行うとともに、日々のミーティングや支援会議資料の回覧等を行い、共通認識の形成に努めた。</p> <p>来年度継続する。</p>

**2 新体制のチーム力強化**

計 画	結 果
<p>1) 就労支援職員としての職務を遂行できるよう指導を行う</p>	<p>適切に作業指導、利用者支援ができるよう指導を行った。</p> <p>来年度継続する。</p>
<p>2) 外部研修への積極的参加と職員間での学びの共有</p>	<p>コロナや職員の産休の影響で、なかなか外部研修に参加することができなかった。</p> <p>6/24～7/25 令和4年度発達障がい基礎講座〔動画配信〕(清水)</p> <p>10/17～12/2 発達障がい支援フォーラム〔動画配信〕(清水)</p> <p>12/6 福祉から一般就労へステップアップ意見交換会(清水)</p> <p>来年度職員体制の確立ができ次第、全職員に積極的に参加してもらっていく。</p>
<p>3) 職員のニーズの把握(定期面談 1回/半年)</p>	<p>日々職員の意見を聞くとともに、定期面談によりニーズを把握し、体制の調整を行った。</p>

	来年度継続する。
4) 職員のニーズに応えるテーマで内部研修を開催する(1回/半年)	9/27開催。5人参加。 テーマ:メンタルヘルス(ストレスが原因で起こる病気(うつ病等)、こころの健康、職場の人間関係などによるストレス解消法等) 講師:島根県社会福祉士会 阪田健嗣様 →下半期分は「5)虐待防止研修」に置き換え。 来年度職員のニーズに応える内部研修は上半期1回の実施とする。
5)虐待防止研修の実施(1回/年)	3/22実施。5人参加。 テーマ:障がい者虐待(障がい者虐待の実態と虐待防止の取り組みについて) 講師:島根県社会福祉士会 阪田健嗣様 来年度下半期に1回実施する。

### 3 出産・育児に柔軟に対応できる人員配置・制度運用

計 画	結 果
1) 出産・育児に関わる各種制度の活用推進	落合主任:時短勤務 R4.4.1~12.31 産前休暇 R5.1.1~ 出産 R5.2.20 育児休業 ~R6.3.31 来年度希望者には時短勤務等の制度を活用してもらおう。
2) 職員の意見を吸い上げ、体制のモニタリング、見直しを行う(管理職会議 1回/月)	人員配置等体制の望ましいあり方について、職員の意見を聞きながら検討を行った。 来年度継続する。

### (3) 施設移転計画の検討と土地・建物の取得

#### 1 計画の目的

市内に類似施設が次々とオープンし、工夫されたサービスも多く展開されている状況のなか、安定的な運営を継続していくため、環境の整った土地・建物に移転することで、利用者様に選ばれる事業所を目指す。

#### 2 計画の経過

- 令和3年11月26日 施設移転についての検討委員会設置
- 令和4年6月13日 第1回検討委員会(コンセプト、場所、面積等の検討)
- 8月16日 土地・建物の売却希望者との協議開始
- 8月22日 第2回検討委員会(土地・建物取得についての協議)

- 9月2日 令和4年度第3回役員会（検討委員会の報告、土地・建物売却希望者との協議の説明）
- 9月20日 不動産売買契約締結
- 9月26日 支払い、登記手続完了
- 10月25日 臨時総会（施設移転計画、土地・建物購入について）
- 令和5年3月29日 令和4年度第4回役員会（移転までの間の新施設の活用について）

### 3 土地・建物取得収支

#### <支出>

土地・建物購入費	23,680,000 円
（土地：10,000,000 円 建物：13,680,000 円）	
不動産仲介手数料	242,000 円
登録免許税・印紙税	377,012 円
司法書士手数料	47,988 円
固定資産税・都市計画納税（68,000 円×2 期分）	136,000 円
不動産取得税（土地：99,000 円 建物：548,200 円）	647,200 円
計	<u>25,130,200 円</u>

#### <財源>

基金積立金から繰り入れ	23,900,000 円
一般財源	1,230,200 円
計	<u>25,130,200 円</u>

#### [基金残高]

$$\underline{54,918,200 \text{ 円}} \quad - \quad 23,900,000 \text{ 円} \quad = \quad \underline{31,018,200 \text{ 円}}$$

# 令和4年度事業報告

2022年4月1日 ～ 2023年3月31日

特定非営利活動法人 みずうみ

## 1 事業の成果

4年度は前年度までの経験を生かし、障がい者福祉事業を主体として、下記の事業を実施した。県内においてコロナ感染が拡大するなか、利用者様、職員でも陽性者が続出した。その結果、1日平均利用者数の目標は達成できなかったが、感染防止対策の徹底により事業所内での感染拡大を防ぐことができた。厳しい状況ではあったが、利用者様支援の充実、職員のチーム形成に努めた結果、利用者様の就労とQOLの向上に効果があった。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①障害福祉サービス事業所の運営事業	就労継続支援B型事業所運営に必要な総合的支援事業	月～金曜日	ワークケアみずうみ	15人	利用者26人 延べ3383人	23,867
②職業訓練及び就労支援事業	就労のための訓練及び自立のための支援	月～金曜日	ワークケアみずうみ	7人	利用者26人 延べ3383人	5,212
③ノーマライゼーションの普及活動	各団体、組織と共同での啓発活動等(地域イベントへの参加)	地域イベントはコロナにより中止	ワークケアみずうみ	15人	利用者26人 延べ3383人	426
④リサイクル運動の推進	アルミ空き缶回収・分別作業、回収業者への引き渡し	月～金曜日	湖陵町内、ワークケアみずうみ	利用者、職員、役員、会員、地域住民が協力	利用者26人 延べ3383人	323

※1 「ノーマライゼーションの普及活動」事業では、例年、地域イベント出店による収益及び職員の作業工賃を利用者様のボーナスとして支給しているが、4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため地域イベントが中止となったため、職員の作業工賃のみの支出となった。